令和８年度　第１回　幸田町総合戦略推進委員会　議事録

○日　時：令和８年８月 24 日（月）
○場　所：役場 4F 第 3 第 4 委員会室
○出席者：委員及びオブザーバーの計 16 人、町事務局等 25 人
○協議内容と主な意見等
・「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要及び昨年度までの取組状況、令和７年度の数値目標の評価、まちづくりのテーマに関する各種施策の進捗状況について、委員から以下のようなご意見をいただきました。

●総合戦略における KPI について（KPI：重要業績評価指標）

・製造業の事業所数や定住人口等、数値が減少している KPI については可能な範囲で減少要因を把握・分析し、対応策を検討した方が良い。
・創業支援事業計画の支援件数は、認定件数の増加ではなく、事業を継続させることが重要であるため、特に商業分野は支援に力を入れてもらいたい。
・ものづくり人材育成事業は、受講生が所属する企業で取組をリードできる人材を育成した方が良い。
・子育て支援に対して多様な取組を実施しているにも関わらず、年少人口が低下しており、満足度も低水準であるため、成果につながっている取組を分析し、施策の効果を測った方が良い。

●今後の人まちづくりについて

・高齢化が進む集落地に新たな世代を呼び込むため、空き家を活用したモデル事業を行い、里山や棚田などに囲まれた暮らしの魅力や楽しさを発信する取組を進めてもらいたい。
・子どもの居場所となる児童館や公民館等の催しを把握できるよう、見つけやすく情報発信してほしい。
・アニメやロケ、aibo 等を通じて発見された町内の場所や魅力を把握し、観光振興やまちづくりに生かしてほしい。

●公共交通の利便性向上について

・快速列車の停車に向けた働き掛けや駅からの二次交通の確保など、交通利便性の向上に取り組んでほしい。
・えこたんバスの再編後も、スクールバスとしての運行してもらいたい。また、老人クラブ等の地域活動へ参加するために利用する高齢者も一定数いるため、負担感なく利用できる仕組みづくりをしてほしい。
・出産が近づいた妊婦の移動を支援するため、陣痛時に利用できる妊産婦タクシー事業に関する情報提供を充実した方が良い。

●幸田町のデジタルに関する取組について

・回覧板をアプリに代えることで、地域コミュニティの希薄になることを危惧している。地域コミュニティの維持も重要であるため、リアルなコミュニケーションがとれる場を意識的に確保した方が良い。

以　上